



第8回食育活動表彰
消費・安全局長賞

ボランティア部門【食育推進ボランティアの部】

消費・安全局長賞

萩市の食育を支える会

[山口県：活動期間10年]

萩の食べ物はいちばん！朝ごはんメニューコンテスト
コンテスト特別企画 朝ごはんつくればチャレンジ
コンテストコラボ企画 絵本クッキング

子育て世代の朝食摂取低下や 生活リズムの改善等に寄与する取組

忙しい現代社会において、パンにジャムだけといった栄養に偏りのある朝食や、保護者世代の朝食欠食などが問題視されています。萩市の食育を支える会では、人々が食事内容に重点を置いた朝食摂取ができるよう、買い物から調理まで一貫した朝食づくりを通し、生活の基礎となる望ましい食習慣を育んでいます。また、子育て世代の朝食摂取率上昇や生活リズム改善を目的に開催されたコンテスト企画等は、受賞した子どもたちの自己肯定感の向上や、周囲の人々への波及がみられています。



受賞した朝ご飯を伝授します。



絵本クッキングで料理に親しみを！

地場産食材を使用した朝食レシピを 考える

朝食摂取率低下や生活リズムの乱れに加え、子どもの地場産食材や旬の食材に対する理解不足も危惧されています。食事内容に重点を置いたレシピを考案する際、積極的に地場産食材を使用することで、子どもの知識習得や農業生産の拡大、地域活性化等にも貢献しています。



ふるさとまつりにて
受賞レシピの試食会



最優秀賞レシピが惣菜化
& 販売されました！



萩の食べ物はいちばん！朝ごはんメニューコンテスト

多くの反省や意見を取り入れ成長する コンテストを実施

朝ごはんメニューコンテストについては、年4回の研修を含む会議において、コンテストの内容確認や意見交換、一次審査等を行っています。市内の食に関わる23団体の専門的な視点や子育てをする保護者の立場からコンテストの効果や反省点、改善点等を共有できる環境を整えています。アンケートフォームを活用し、参加者の意見やニーズを直接取り入れています。



コンテストに選ばれた上位6組



テレビでも特集されました。



朝ごはんメニューコンテスト等の活動が続けることで、こどもが家族を想い、親子で取り組む姿が少しずつ増えてきたように思います。今後もこの受賞を励みに、萩のこどもたちが朝ごはんの大切さを、知識だけでなく体験を通して感じる機会を数多く作り、幼少期からの生活リズムの確立に繋がる活動の輪を広げてまいります。

萩市の食育を支える会一同



第8回食育活動表彰
審査委員特別賞

ボランティア部門【食育推進ボランティアの部】

審査委員特別賞

高松市生活研究グループ

[香川県：活動期間66年]

高松産ごじまん品とジビエ肉を中心とした地産地消と食育への推進活動

農村に生きる女性たちによる 「かまどの改善」から始まった活動

当活動は、昭和32年、農村に生きる女性たちによる「かまどの改善」から始まりました。社会の変化に伴い活動内容も多様化され、その中でも郷土料理の伝承や地産地消の推進、食育活動に力を入れて取り組んできました。種まきから食卓まで携わっている農家女性だからこそ得ることのできる視点で素材の味を生かしたレシピを考案し、次世代への継承を目指しています。今後も、地域とのふれあいを大切にした食育活動を継続するとともに、SNS等の媒体を活用して活動の幅を広げていきます。



調理実習の様子

親子クッキングや男の料理教室などの イベント等の開催

日常生活で料理に触れる機会が少ない男性や子どもたちを対象とした料理体験イベントも開催しています。男性を対象とした「男の料理教室」では、高松産ごじまん品を使用したおせち作りを実践し、郷土料理の伝承を促進しています。また、子どもたちを対象とした「親子クッキング」では、親子で料理に挑戦し、料理は楽しいものだと思ってもらえるようなきっかけ作りを提供しています。



親子クッキングの様子

高松産ごじまん品を中心とした 地産地消と食育への取組

平成16年からは、活動テーマを「高松産ごじまん品を中心とした地産地消と食育への取組」として新メニューの開発に取り組んできました。地元高松市内で生産される農産物「高松産ごじまん品」や有害鳥獣とされるジビエを使用した「ジビエ料理」のメニュー開発を継続的に行い、多くの人に手に取ってもらう機会を作っています。



高松ごじまん品の販売

種まきから食卓まで携わっている農家女性の視点で取り組んでいます



この度の受賞をグループ員一同、とても誇りに思い、深く感謝いたします。私たちの活動の合言葉は「成長」。一人一人が目的意識を持ちながら、今後も、学び、生み出し、そして広めることを生活の基盤として、高松産ごじまん品やジビエ料理を中心とした地産地消と食育への取組に励んでまいります。

高松市生活研究グループ連絡協議会
会長 吉村 理恵



第8回食育活動表彰
審査委員特別賞

教育関係者・事業者部門【教育等関係者の部】

審査委員特別賞

岡山県立大学 保健福祉学部子ども学科

[岡山県：活動期間3年]

雑草型幼児教育人材育成 -食を巡る学際的取組み-

日本の食を取り巻く環境変化が深刻化

現在、日本の食を取り巻く環境変化が深刻化しており、食の持続可能性が懸念されています。そこで、保育者を目指す岡山県立大学子ども学科の学生たちは、野菜の栽培体験を通じた食育プログラムの開発とその実践を行うことで、課題解決に取り組んでいます。今後は、地元企業やアリゾナ大学との連携を図り、プログラムの更なる発展を目指していきます。



野菜調べとガーデン内の
配置案作成



草マルチのレクチャーを受ける様子

保育者を目指す学生たちが野菜の種まきから栽培、調理とそのプロセスを体験

岡山県立大学保健福祉学部子ども学科では、学生が野菜の種まきから栽培、調理までのプロセスを体験し、これらを学問領域へと連関させる取り組みを行っています。保育者を目指す学生たち自身が四季を通じて野菜の栽培方法を学ぶことで、食とそれを取り巻く環境や、他領域についての知識を深めます。



種まき



畝立 & 苗植え



収穫した大麦・ブルーベリーを使用して調理

岡山の食文化も取り込んだ幼児向けの食育プログラムを作成し実践

学生たちは、自らの栽培体験と様々な学問分野を連関させながら、岡山の食文化も取り込んだ幼児向けの食育プログラムの作成に励んでいます。学生が地域の保育園、社会福祉法人、企業等と協力してプログラムを実践し、効果の検証や内容の変更、修正を行っています。将来保育者になる学生たちが、食育プログラムの作成を通して食に関する横断的知識を得ることは、子どもたちの生涯にわたる心身の健康を支える食育活動への寄与に繋がります。



地域の保育園とコラボレーション



親子食育体験会



将来の保育者を目指す学生たちが、学内スクールヤードでの農業体験と食を取り巻く複合的分野の知識を融合させ、幼児期の子どもたちへの教育にどう展開できるのか、独自のプログラム開発を目指しています。まだ始めたばかりの取組であり、困難に感じることも多いですが、今回の受賞を励みにして努力してまいります。

岡山県立大学保健福祉学部子ども学科一同

応募お待ちしてます！

募集締切

令和6年
8月30日^金
必着



食育 活動表彰



第9回

SHOKUIKU
KATSUDOU HYOUSYOU

食育を推進する

表彰式

令和7年6月7日^土
第20回 食育推進全国大会

会場

徳島県立産業観光交流センター
(アスティとくしま 徳島市山城町東浜傍示1番地1)

取組を募集します！

ボランティア活動、教育活動又は、農林漁業、食品製造・販売等、
その他の事業活動を通じて食育を推進する優れた取組を表彰し、
さらに食育を広げていきます。

■ 応募内容 に関するお問い合わせ

農林水産省 消費・安全局消費者行政・食育課

TEL.03-6744-2230

(平日9:30~17:30、土日祝日除く)

■ 応募書類の提出 に関するお問い合わせ

「第9回食育活動表彰運営事務局」株式会社ゲート・クリエイティブ内

TEL.03-6825-0700

E-mail / maff@shore.co.jp (平日9:30~17:30、土日祝日除く)



詳しくは農林水産省のホームページをご覧ください。

食育活動表彰



〈主催〉農林水産省 〈後援〉内閣府、消費者庁、こども家庭庁、文部科学省、厚生労働省

農林水産省

第20回 (令和7年度)

in 徳島

食育推進全国大会

開催日

会場

令和7年(2025年)

6/7^土 6/8^日

徳島県立産業観光交流センター
(アスティとくしま)

(徳島県徳島市山城町東浜傍示1番地1)

内容

開会式、表彰式(食育活動表彰)、
食育推進のためのシンポジウム、講演、ブース展示 等

主催

農林水産省、徳島県

四国初!

2025年は、**徳島** 開催!

楽しみに
しとてな!

すだちくん

最新情報は
ここからチェック!



<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/taikai/R7/index.html>

農林水産省
中国四国農政局

<問合せ先>
中国四国農政局 消費・安全部 消費生活課
TEL086-224-9428